

# 結びあう世界 だから対話を

*Dialogue with people in the world*



## 応募者のてびき

000  
36  
JV

事業団  
**青年海外協力隊**

〒150 東京都渋谷区広尾4-2-24 ☎03(400)7261

## 青年海外協力隊員を志す青年諸君へ



(マレーシアで縫製工を教える協力隊員)

このパンフレットを手にしている諸君の多くは各人各様の「動機」で青年海外協力隊に関心を持ち、「ことによったら自分も協力隊に参加してみたい」という気持ちで、これからパンフレットを読み進もうとしているのではなからうか。

その動機が人によってさまざまであるのは当然としても、「協力隊を志望する」と心に決めたからには、各人に共通して、心底に銘記しておいてほしいことを、ここに一点に絞って強調しておきたい。結論から先に言うと、それは『協力隊員の活動は、海外での青年のボランティア活動である』ということである。

協力隊員は、開発途上の国々にて、その国の人びとと職場活動と日常生活を共にすることによって、その国の国づくりに協力することを使命としている。参加する青年は、もちろん開発途上国の国づくりに必要な技術・技能を身につけていなければならないが、「必要な技術・技能を持っている」というだけでは、協力隊員として充分ではない。

「国づくり」というものは、本来、その国の国民が自らの努力でなすべきものである。協力隊事業の特長は、開発途上国の人びとと、協力隊員である日本の青年とが、心と心のふれあいを通じて互いに高めあい、その国が目ざす経済・社会の発展を進めてゆくことによって国づくりに協力し、その結果、開発途上国と日本国の両国民の友好親善が増進されることにある。

協力隊員をとりまく開発途上国の環境は、自然条件のみならず社会・経済・文化のあらゆる面で日本とはかなり異なっている。そうした環境のもとで、何らの報酬も求めず、前述のような使命を担って協力活動にたずさわる協力隊員の姿は、まさにボランティアと呼ぶにふさわしい。

この姿こそ、昭和40年の事業発足いらい今日まで約2,800名の協力隊員に受け継がれてきた“生きざま”であり、事業の背骨として一貫して貫かれてきた伝統である。それ故にこそ協力隊事業は他の技術協力事業とは違う際立った評価を国内外で受けてきたのである。

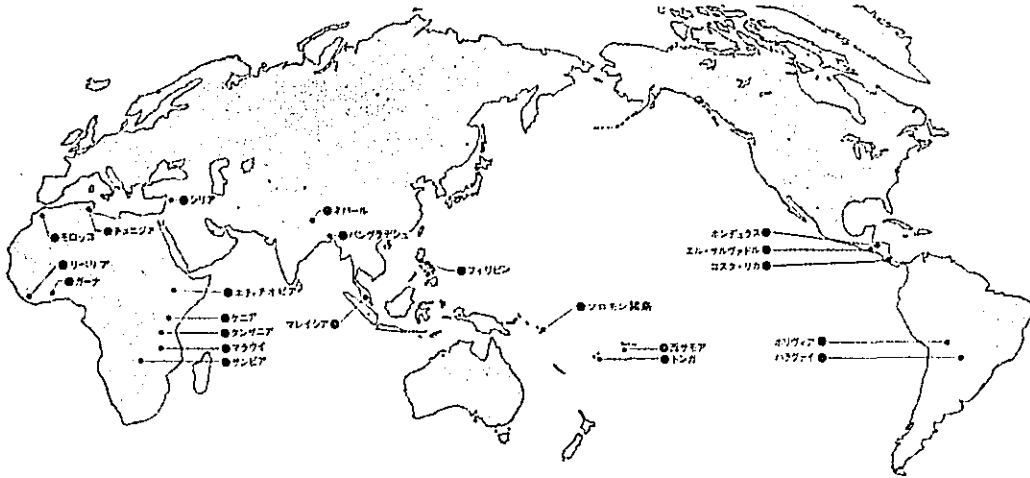
残念ながら日本の社会には、まだボランティア精神や無私奉仕の心が充分にはビルトインされていない。しかし、地域コミュニティから世界大にまで拡大されたボランティア精神が日本国民の間に根づくことがなければ、日本の将来は暗いものとなるであろう。

協力隊に参加する青年は、そのことによって得られる物質的な代償は何もないといわねばならない。ボランティアとしての心を深めようと努力しつつ協力活動の中で積み上げた体験は、参加した青年ひとりひとりにとっては“誇れる青春”として、また国際化という新しい国づくりを目ざす日本にとっては、その先達たる“慧眼”の士を得るという意味で、モノやカネには換えられない大変有意義なものである。

協力隊への道は、諸君の秘められたるボランティア精神に火を点すことから始まる。

青年海外協力隊事務局長

黒河内 康



<b>国際協力事業団</b>	
受入 月日 '84. 9. 13	000
登録No. 14988	36
	JV

< 目 次 >

<b>青年海外協力隊員を志す青年諸君へ</b> .....	2
(1)はじめに.....	4
(2)協力隊の主役は、あなた.....	4
(3)どんな国で活動するのか.....	5
(4)どんな技術・技能が必要か.....	6
(5)どの程度の技術・技能が必要か.....	8
(6)どうすれば応募できるか.....	9
(7)どんな試験があるのか.....	9
作文試験問題 .....	11
英語試験問題 .....	11
技術試験問題 .....	12
(一部職種のみ)	
(8)試験に合格すると.....	18
(9)勤め先を退職して参加できるか.....	19
(10)現地での活動は.....	20
(11)帰国後は、どうなるのか.....	21
<b>協力隊への道は、あなた自身で拓く.....</b>	<b>22</b>

[巻末資料] ① 職種部門別・国別隊員派遣状況 (29) ② 隊員派遣のあゆみ (30)  
 ③ 都道府県の協力隊関係部課と国際協力事業団支部(国内)一覧 (31)  
 (注) 本文中のカットは元協力隊員の安藤二葉さん(エル・サルヴァドル派遣=造形美術の分野で活動)に描いてもらったものです。

昭和54年3月作製

## はしめに

毎年、春と秋の2回、青年海外協力隊の隊員の募集がおこなわれているのを、ご存知でしょうか。

皆さん方のなかには、ずっと以前から協力隊（青年海外協力隊の略称です）に関心をおもちになり、すでに、かなりくわしく協力隊のことを知っておられる方もいると思いますが、このパンフレットでは、まず、「協力隊って、なに？」という疑問を抱かれるような方がたのために、①協力隊とは、なにか、②どういう人が応募できるのか、③どうしたら応募できるのか、④どんな試験があるのか、⑤合格してから出発するまでに、どんな準備をするのか、⑥派遣された国では、どんな仕事をし、生活をするのか、⑦帰国後は、どうなるのかなどについて、かいつまんで紹介してみたいと思います。

おそらく皆さんは、「このパンフレットでは食いたらない。もっとくわしく協力隊のことを知りたい」と思われることでしょう。そのときは、協力隊事務局や都道府県庁の協力隊関係部課、あるいは最寄りの国際協力事業団の支部に遠慮なくおたずねください。

また、皆さんの意外に身近に、協力隊の元隊員が住んでいたり働いていたりするかもしれませんから、その所在を協力隊事務局や都道府県の関係部課に問い合わせ、「先輩」からじっくり話をきいてみるのも、いいでしょう。

都道府県の関係部課や国際協力事業団の支部の所在地や電話番号は31ページに掲載してあります。

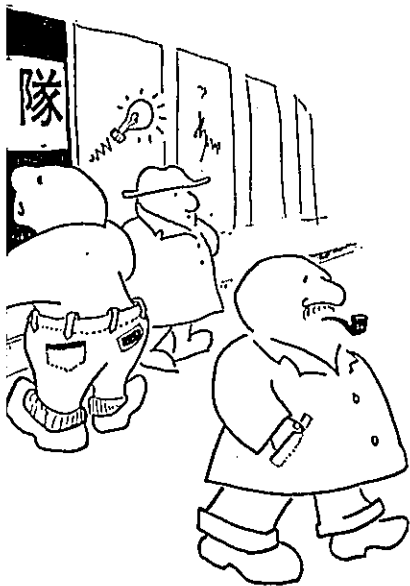
## 協力隊の主役は、あなた

くりかえしになりますが、「協力隊」あるいは「協力隊員」というのは、「青年海外協力隊」あるいは「青年海外協力隊員」の略称です。「隊」とか「隊員」などという、いかにも肩ヒジ張って、厳格な命令のもとに行動し生活するもの、といった感じを受けますが、協力隊員の仕事や生活の実情は、決して、そういうものではありません。むしろ隊員は、一人ひとり違った職場に入り、自分自身の判断と行動力で活動しなければなりません。生活も同じです。また隊員の活動は「青年による海外ボランティア活動」なのです。その意味で、協力隊の「主役」は協力隊に参加する青年一人ひとり、つまり、あなたです。協力隊事業は「国の事業」ですが、その「主役」は参加する青年で、国は、青年たちの活動を支援する役割を担うと法律（国際協力事業団法）にも書かれています。

協力隊員の活動の舞台は開発途上国です。先進国との経済的格差に悩み、先進諸国の繁栄と裏腹に飢えや病気に苦しむ多くの人びとをかかえている開発途上国で、そこに住む人びとといっしょに生活



街角で何かを感じたら！



し仕事し、その国の人びとの生活の向上、ひいては、その国の経済、社会の発展に協力するのが、隊員の「協力活動」です。そのような協力隊員の活動を支援する役割をもつ国（政府）は、隊員の活動の機会と場を提供するとともに、渡航旅費、現地での生活費、活動に必要な経費などを負担しているのです。

協力隊は昭和40年（1965年）に発足しました。発足してから現在までに約2,800人の青年が協力隊に参加しました。それらの青年たちの参加動機はさまざまですが、共通しているのは「物質的に恵まれない国の人びとの生活の向上のために、自分が身につけている技術や技能を役だてたい。この海外ボランティア活動を通じて、自分の青春の一時期を燃焼させ、自分自身の生きがいも見いだしたい」という、いかにも人間らしい気持ちです。

### どこの国で活動するのか

協力隊員の活動の舞台が開発途上国であることは、おわかりいただけましたか。しかし、開発途上国ならどこへでも行けるのか、というと、そうではありません。外国で日本人が「協力」の仕事をするのですから、その国と日本国（政府）との間で、隊員の受け入れ・派遣に関する基本的な約束がかわさなければなりません。それがなければ、隊員の身の安全も保障されないこととなります。現に協力隊員が派遣されている国々には、この政府と日本政府との間には、必ず、協力隊員の「派遣取極」という国際約束が結ばれています。

そして、それらの開発途上諸国の政府から、「こういう仕事のできる隊員がほしい」という要請があってはじめて、日本から隊員が派遣されることになるのです。そのような要請をとりまとめたものが、毎回の募集時に協力隊事務局が作成する募集要項の「受入要請内容」です。

これまでに協力隊員が派遣された国々には、次のとおりです。すでに隊員派遣が終わった国（○印）や、現在は派遣が中止されている国（△印）もありますが、派遣国は今後もふえていく見とおしです。

地 域	派 遣 国 名
ア ジ ア	マレーシア、フィリピン、ネパール、バングラデシュ、○カンボディア、○インド、○ラオス
ア フ リ カ	ケニア、タンザニア、ザンビア、マラウイ、ガーナ、リベリア、△エチオピア
中 近 東	モロッコ、シリア、チュニジア
中 南 米	エル・サルヴァドル、コスタ・リカ、ホンデュラス、ボリヴィア、パラグアイ
南 太 平 洋	西サモア、トンガ、ソロモン諸島

## どんな技術・技能が必要か

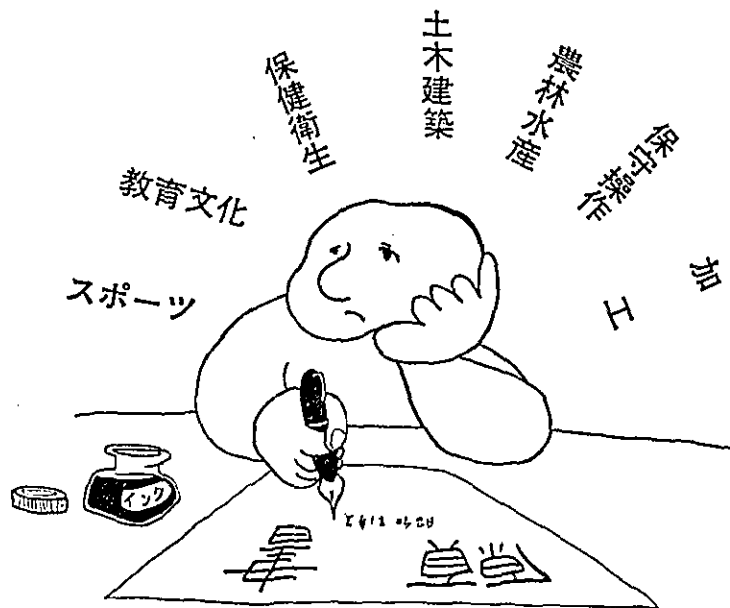
募集要項の「資格」のらんを見てください。協力隊には「満20歳以上、原則として35歳までの日本の青年男女」なら、誰でも応募できることになっています。学歴は問いません。ただし、前にお話しましたように隊員には「開発途上国の民生向上や経済、社会の発展に役立つ技術や技能」がなければならないことは、いうまでもありません。

具体的に、どんな技術や技能が必要かは、やはり募集要項の「受入要請内容」に書いてあります。そこには、必要な技術・技能の種類と、どの程度のレベルの技術・技能が必要かが、個ごとに具体的に記載されています。

あなたのもっている技術・技能の種類と、その技術・技能に関する資格・免許や実務の経験年数などを考え合わせて、あなたの応募する職種を決めていただくことになります。

協力隊のいう「技術・技能」とは、教育やスポーツなども含む、広い意味のものです。これまでに隊員が派遣されたことのある職種名を一覧表にしておきましょう。この分類方法は、協力隊事務局が過去の経験にもとづいて、隊員の活動の実情を考えて採用しているもので、54年の春募集から適用しています。したがって、資料として掲げてあるものの職種分類とは、多少、異なるところがありますので、注意してください。

君にもできる何かがあるはずだ



部 門	ひんばんに要請 がある職種 <small>(カッコ内は過去2回の要請 数に対する応募者数の割合)</small>	毎回、要請がある とは限らない職種 <small>(募集のつど、協力団体事務局などへ問い合わせれば、その回 に募集があるかどうかわかる)</small>
農 林 水 産	稲 作 (1.5) 園芸作物 (1.3) 土 壌 肥 料 (1.0) 農 業 土 木 (2.4) 農 業 機 械 (0.9) 家 畜 飼 育 (4.6) 獸 医 (1.1) 漁 具 漁 法 (3.4)	食用作物、工芸作物、きのこ、養蚕、 病虫害、養鶏、飼料作物、初生ヒナ鑑 別、農・漁民組織、食品加工、森林経 営、製材、養殖、水産物加工、農林水 産統計
加 工		陶磁器、竹工芸、木工、仕上、板金、 鋳造、鍛造、溶接、塗装、繊維製品、 印刷、化学製品、小型造船
保 守 操 作	工作機械 (3.6) 電気工事 (7.8) 電気機器 (5.5) 電子機器 (2.5) 建設機械 (1.3) 船舶機関 (1.1) 自動車整備 (3.5) 電話線路 (4.8) 無線通信機 (1.9)	鋳業、冷凍機器、精密機器、自家発電 機、プラント機械、鉄道車両、電話交 換機、宅内電話工事、搬送、レック ス、送信機
土 木 建 築	土木設計 (4.8) 土木施工 (10.0) 測 量 (3.8) 建 築 (4.7)	都市計画、造園、配管
保 健 衛 生	看護婦 (7.0) 助産婦 (1.7)	医師、歯科医師、保健婦、臨床検査技 師、診療放射線技師、作業療法士、理 学療法士、薬剤師、保育、養護、栄養 士、公衆衛生
教 育 文 化	家 政 (4.8) 婦人子供服 (8.5) 音 楽 (1.1) 理数科教師 (3.4)	経済、統計、文化人類学、人文地理、 司書、秘書、プログラマー、写真、映 画、放送、美術、図学、日本語
ス ポ ー ツ	体操競技 (0.9) バレーボール (1.8) 柔 道 (0.3)	体育、体育医学、陸上競技、水泳、卓 球、野球、バスケットボール、ソフト ボール、ボクシング、レスリング、重 量あげ、空手

**どの程度の技術・技能が必要か**

どの程度のレベルの技術や技能が必要かは、一口ではいえません。それは募集要項の「受入要請内容」にのっとって判断しなければなりません。というのも、どのような隊員がほしいかを決めるのは、隊員の派遣を要請してくる開発途上国の政府だからです。むろん、職種が異なれば、必要とされる技術・技能のレベルも違ってきますが、同じ職種でも、国によって違います。

たとえば同じ稲作の関係でも、ある国では「大学卒で3年以上の実務経験が必要」といつてくるかと思えば、別の国からは「高校卒でよい」というように、国によって違いがあるわけです。また、同じ国からの、同じ職種の要請でも、「一人は農村で普及活動にあたる人」、「もう一人は試験場で試験研究にあたる人」といったように、条件に違いがあることもあります。したがって、一既に「稲作では、こういう人」ということはできないのです。

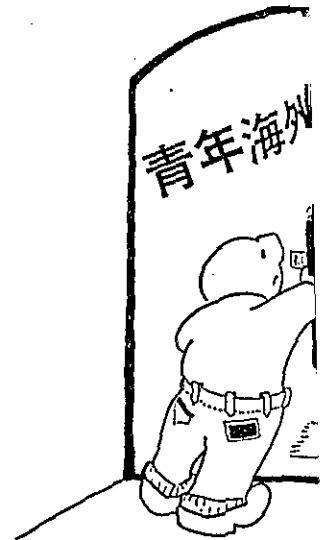
このような違いがあることを前提としながらも、一般的な目安として、次のようなことがいえます。

- (1) 大学卒なら実務経験が1～3年
- (2) 高校卒なら実務経験が4～5年

協力隊では学歴は問いませんから、中学校や短期大学、あるいは各種学校卒の人の場合、この目安を参考にしてください。協力隊が実務経験を重視するのは、隊員の多くが、開発途上国で指導や普及などの仕事に従事することになるからです。実践的な技術・技能と、その応用能力は、隊員にとって必要不可欠だといえるのです。

もっとも、音楽、スポーツ、秘書、理数科教師などのように、大学あるいは専門学校を卒業したばかりの人でも比較的派遣されやすい職種もあります。一方、必ず、その技術・技能分野での資格や免許が必要とされるものに、次のような職種があります。

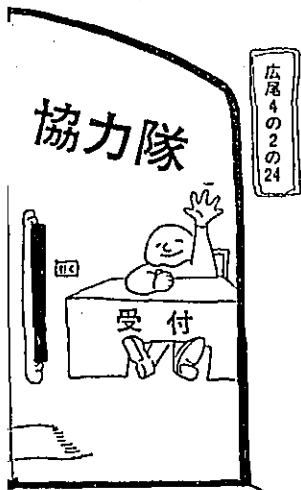
なお、協力隊事務局では、2次試験受験者のうち、「もう少し実践的な技術を磨いたほうがいい」と判断された人については、技術を補完する目的で「育成研修制度」というものを設けています。くわしいことは事務局へ問い合わせてください。



気軽に扉を開いてみよう

職種名	資格・免許	職種名	資格・免許
医 科 師	医 科 師	臨床検査技師	臨床検査技師
歯 科 医 師	歯 科 医 師	自動車整備	2級整備士
看護婦	正看護婦	電気工事	電気工事士
助産婦	助産婦	測量	測量士補
栄養士	栄養士	建築	建築士
作業療法士	作業療法士	土木施工	土木施工管理士
理学療法士	理学療法士	柔道	柔道4段相当





### どうすれば応募できるか

協力隊員の募集は、毎年2回、春と秋に行なわれます。この期間内に、協力隊事務局所定の願書に必要なことがらを記入して青年海外協力隊事務局に提出(郵送でもけっこうです)すればよいのです。願書の有効期間は一回かぎりです。願書の用紙は、協力隊事務局あるいは各都道府県庁の協力隊関係部課や国際協力事業団の支部にあります。

### 青年海外協力隊事務局は.....

〒150 東京都渋谷区広尾4-2-24  
電話：東京 (03) 400-7 2 6 1

協力隊員の募集・試験・訓練・出発のスケジュールは次のとおりです。

	募集期間 (願書締切日)	1次試験(筆記)	2次試験(面接)	訓練	出発
春の募集	4月15日～5月31日 (5月31日)	7月中旬の日曜日	8月中～下旬	3次隊 10月1日 ～1月中旬	2月上旬
				4次隊 12月10日 ～3月下旬	4月中旬
秋の募集	10月15日～11月30日 (11月30日)	1月中旬の日曜日	2月中～下旬	1次隊 4月1日 ～7月中旬	8月上旬
				2次隊 6月14日 ～9月下旬	10月中旬

### どんな試験があるのか

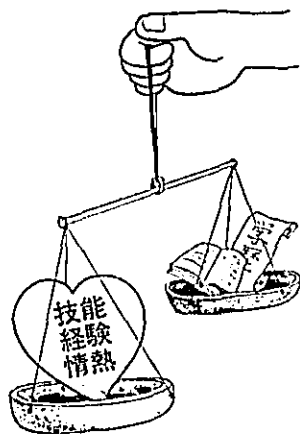
協力隊の隊員の選考試験には、第1次試験(筆記)と、第2次試験(面接)があります。

第1次試験は、各都道府県で全国いっせに行なわれ、作文と英語と技術のペーパーテストです。

第2次試験は、1次試験に合格した人について東京で実施され、人物と技術と簡単な英会話の面接試験です。英会話の試験はそれほどむずかしいものではありませんから、気おくれせずにがんばってください。

前回の作文と英語と一部の技術試験の問題を、参考までにのせておきましょう。技術の試験問題は、その回の募集の選考試験の対象となる、すべての職種の問題を1冊の問題集にまとめて出題されます。あなたは、そのなかから一つの職種の問題を選んで解答すればいいわけです。その際、願書に書いた職種と、試験場で試験問題を見てから、「これがいい」と思い直して選んだ職種とが違っていてもかまわないことになっていますので、ご承知ください。

ここには、技術の試験問題は、野菜、自動車整備、建築、看護婦、



理数科教師の5職種だけ紹介してあります。その他の職種の前回の試験問題も、協力隊事務局や都道府県の協力隊関係部課へ出向けば自由に閲覧することができます。

さて、協力隊の選考試験では、いったい、なにが試められるのでしょうか。技術や技能のレベルについては、前に、かなりくわしく紹介しましたから、ここでは「人物」と「英語」について、条件的なことから整理しておきましょう。

試験を受けるにあたっての心構え、あるいは、そもそも協力隊に参加しようとするからには、どんな心構えが必要かは、項をあらためて、くわしくお話しすることにしましょう(22～28ページ)。

#### 〔人物・年齢・家族状況〕

①協力隊では、その人が隊員としての適性をもっているかどうか、をもっとも重視して選考にあたります。つまり「人物」を最も重要視しているわけです。というのも、日本とは全く違った文化をもつ国ぐにで、その国の人びととともに生活し仕事をするのですから、協力隊員の活動にはさまざまな障害がともないます。それをのりこえて活動を続ける強い意志と思考力、開発途上国の国づくりに貢献しようとする情熱、それらを支える、厳しい生活にも耐えることのできる健康な身体が必要です。

②年齢は、満20歳以上、原則として満35歳以下で、その回の募集の願出締切日現在の満年齢です。ただし、特殊な職種については、年齢制限を超えても応募できる場合がありますから、協力隊事務局へ問い合わせてください。

③協力隊員は「単身赴任」が建て前ですので、選考試験でも単身者が優先的に扱われますが、既婚者でも、2年間、夫や妻あるいは子どもを日本に残して単身で赴任でき、それでも家庭になんら支障が起きないと認められる場合は参加できます。

#### 〔語学力〕

英語の試験は、現在の英語力をみるためばかりでなく、外国語を学ぶ基本的な姿勢を見るためのものです。試験問題自体は、中学3年あるいは高校1年で習う程度の英語をしっかりと身につけていれば、まったく歯がたたない、というような問題ではありません。職種により、あるいは活動の形態により、必要とされる語学力にはもちろん差がありますが、それも、単に英語の試験だけでテストするというのではなく、選考試験全体を通じて総合的に判定されます。

英語の会話は、派遣前の約4カ月間の訓練と、派遣国に着いてすぐに行なわれる約1カ月間の現地訓練で、日常生活と職場での会話にまごつかない程度の会話能力を身につけられる素質があるかどうかをみるためのものです。

昭和54年度第1次隊 作文試験問題

あなたが協力隊員として赴任することは、もちろん相手国への協力活動が主目的です。

それ以外にあなた自身にとって、どのような面であなた自身を高めることができたか一層協力隊参加の意義が深まると考えられるか、できるだけくわしく述べなさい。

昭和54年度第1次隊 英語試験問題

この試験問題は、受験者の現在の英語力をみるためばかりではなく、将来外国へ行った場合に、英語以外の外国語を短期間に学び、協力隊員として充実した活動を行うことが出来るかどうかという外国語を学ぶ基本的な姿勢をみるためのものです。

小さなミスにこだわらず、全体の意味をつかみ、コミュニケーションを工夫する気持で全力で取り組んで下さい。

〔1〕 次の英文を日本語に直しなさい。

- 1) It rained hard all the morning. At noon it began to clear. Ann and I went to Yoyogi Park in the afternoon. The leaves there were beginning to turn red. On our way home, we saw many stars shining brightly in the clear sky.
- 2) Thank you very much for the letter which I received the other day. It was good of you to write to me. I am in the first-year class of the senior high school, and I have been learning English for about three years.

〔2〕 次の質問に英語で答えなさい。

- 1) When you work only five days a week, what do you do with the sixth and the seventh days?
- 2) Which among Morocco, Tunisia, Nepal and Syria is a non-Islamic country?
- 3) When do we have the rainy season in Japan?
- 4) In which technical field(s) will you be able to serve as a JOCV volunteer?

〔3〕 次の日本語を英語に訳しなさい。

- 1) 電話をお借りしてもよろしいでしょうか。
- 2) もう少し大きな声でおっしゃっていただけませんか。
- 3) 泣くのをやめなさい。
- 4) 彼はまるでアメリカ人のように英語を話します。
- 5) 私は一ヶ月以内にこの仕事を仕上げなければなりません。

〔4〕 次のa)、b)のいずれかひとつを、下の例にならってやさしい日本語に書き改め、そのやさしい日本語を英語にかきなさい。

- a) 「和をもって尊しとなす」      b) 「人を見て法を説け」
- 1) (やさしい日本語) :      2) (英語) :
- (例) 「情けはひとのためならず」: (情けをかけておけば巡り巡って自分によい報いが来る。)

〔5〕 次の文を読んで下の間に日本語で答えなさい。

A fox was being chased by hunters and begged a wood-cutter whom he saw to hide him. The man told him to go into his hut. Soon afterwards the hunters arrived and asked if he had seen a fox pass that way. He answered "No" but as he spoke he jerked a thumb towards the place where the fox was hidden. However, they believed his statement and did not take the hint. When the fox saw they had gone he came out and left without speaking. The woodman blamed him for not even saying a word of thanks for his help. "I would have thanked you," the fox called back, "if your actions and your character agreed with your words."

- 1) 狩人達に「きつねをみなかったか」ときかれた時、きこりはどうしましたか。
- 2) この物語にでてくるきこりはどんな人間ですか。きつねが言った最後のことをばを参考にして考えて下さい。

## 昭和54年度第1次隊 技術試験問題

(一部職種のみ抜粋)

### 野 菜

問1 野菜について、次の用語を簡潔に説明しなさい。

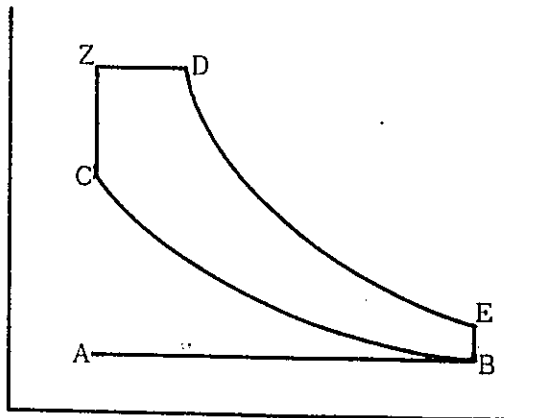
- (1) 雄性不稔
- (2) 栄養繁殖
- (3) 間 作
- (4) アレチウリ
- (5) 節 成 性

問2 野菜栽培の田畑輪換について説明し、その意義についても説明しなさい。

問3 レタス、きゅうり、にんじんについて、その栽培法の概要と技術的に最も留意すべき点を説明しなさい。

### 自動車整備

問1 図は高速ディーゼルエンジンの理論サイクルを示すものである。次のA群の各作動の期間に該当するものをB群から選んで、答えを番号で記述しなさい。

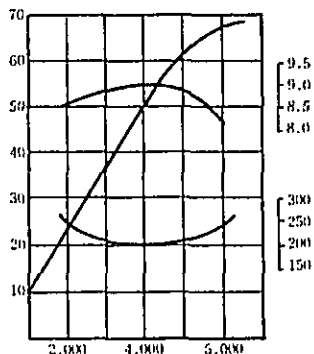


- |    |            |    |       |        |
|----|------------|----|-------|--------|
| A群 | イ 断熱圧縮 ( ) | B群 | 1 BC  | 6 BA   |
|    | ロ 排 気 ( )  |    | 2 DE  | 7 EB   |
|    | ハ 燃 焼 ( )  |    | 3 ZD  | 8 EBA  |
|    | ニ 断熱膨張 ( ) |    | 4 EBC | 9 AB   |
|    | ホ 吸 入 ( )  |    | 5 CZD | 10 ZDE |

問2 図はあるガソリンエンジンの性能曲線である。次の各々について答えなさい。

- イ. 4,000rpm のときの軸出力と軸トルクはいくらですか。
- ロ. 前述の状態でエンジンを12分間運転すると、ガソリンを何リット

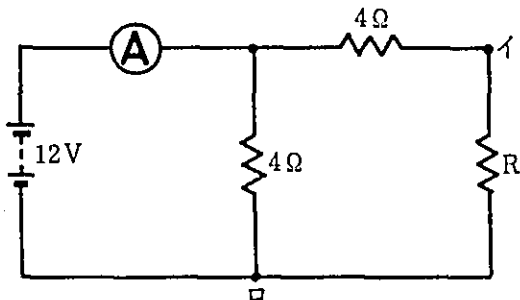
ル消費しますか。



- 問 3 次の諸元をもつ自動車で、エンジンが4,000rpm、軸トルクが15kgmで運転中のとき、次の各々について答えなさい。
- イ. 第4速に入れた場合、駆動輪の発生する駆動力はいくらですか。
- ロ. 前述の状態の走行速度はいくらですか。

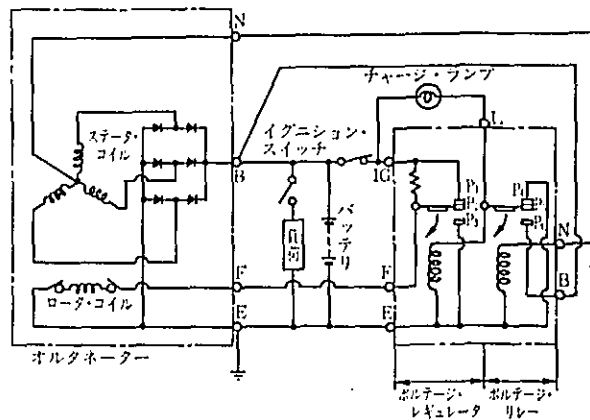
トランスミッションの変速比	第1速 3.67	第3速 1.40
	第2速 2.11	第4速 1.0
ファイナル・ギヤの減速比	3.6	
駆動輪タイヤの有効半径	0.27m	
動力伝達効率	第4速のとき 0.9	

- 問 4 図に示す回路について、次の各々の間に答えなさい。
- イ. 抵抗Rはいくらですか。
- ロ. イ、ロ間の電圧はいくらですか。



- 問 5 図のようなオルタネータの充電回路について、高速回転時の作動を記述しなさい。(注：図は次頁の間6の後にあります)
- 問 6 次の各々について、簡単に記述しなさい。
- イ. 2パレル・キャブレータの利点
- ロ. EGR装置の役目
- ハ. スパーク・プラグの熱価

- ニ、ラジエータ・キャップの作動
- ホ、オーバ・ステアとアンダ・ステア
- ヘ、ハイポイド・ギヤの特徴
- ト、ラジアル・タイヤの特徴
- チ、インジェクション・ポンプ・ガバナの動き(ディーゼル・エンジン)



**建 築**

- 問 1 人体の感ずる暑さ寒さを表わす尺度にヤグロー氏が発案した有効温度というのがある。この有効温度を算定するのに必要な三つの要素を記せ。
- 問 2 手術室の床は電導床となっているが、その理由を記せ。
- 問 3 一戸建住宅規模の鉄筋コンクリート造建築工事確認申請に必要な設計図書の種類を記せ。
- 問 4 外端柱にとりつく大ばりの鉄筋が、柱の中心線の内側で垂直に折り下げられて定着している場合における応急措置を記せ。
- 問 5 骨材強度に問題がない場合のコンクリート強度は、いかなる要因によるか記せ。
- 問 6 鉄筋コンクリート造の構造計算順序について簡潔に記せ。
- 問 7 積算業務に従事した人は、その従事した期間と業務内容を記せ。
- 問 8 都市計画業務に従事した人は、その従事した期間と業務内容を記せ。
- 問 9 あなたは開発途上国において建築分野で仕事をする場合、どのような点において最も貢献できると考えているか簡潔に記せ。

**看 護 婦**

- 問 1 次の疾患について共通点と相違点について概説しなさい。
  - (1) 猩 紅 熱
  - (2) 水 痘
  - (3) 風 疹
  - (4) 麻疹
  - (5) 流行性耳下腺炎

**理数科教師**

問 2 次の消毒剤について、それぞれの消毒作用と適用をのべなさい。

- (1) アルコール
- (2) 逆性石けん
- (3) ヒピテン液
- (4) クレゾール石けん液
- (5) ホルマリン

問 3 昏睡状態の40歳代女子の患者が運ばれてきた。脈拍頻数、呼吸正常、血圧正常、顔面蒼白である。この患者の観察の要点と予測される処置の準備ならびに異常の原因と思われるものを挙げ、看護の要点を略記しない。

問 4 次の治療食の種類と特徴をのべなさい。

- (1) 腎 臓
- (2) 肝 臓

問 5 開腹手術後ドレーン挿入患者の1日目の看護の要点を略記しなさい。

問 1 は全員が解答し、問 2 から問 8 までの中から 3 問を選び、合計 4 問について答えなさい。ただし、数学を主とするものは、問 2、問 3、問 4 のうちから 2 問以上を必ず選び、理科を主とするものは、問 5 から問 8 までのうちから必ず 2 問以上を選ぶものとする。

問 1 「何のために数学または理科を教えるのか」と問われたら、あなたはどう答えますか。数学教育または、理科教育からみて、論点を三つにしぼって簡潔に記せ。

問 2 次の(1)～(4)に答えよ。

- (1)  $(a^2 - a)x - a^2 + 1 = 0$  を解け。
- (2)  $\frac{1}{7}$  を無限小数で表したとき、小数第20位にはどんな数字がくるか。
- (3) 三角形ABCにおいて、頂角A、B、Cの対辺をa、b、cとするとき、
  - (i)  $a = b \cos C + c \cos B$ ,  $b = c \cos A + a \cos C$ ,  $c = a \cos B + b \cos A$  を証明せよ。
  - (ii) (i)の結果を利用して、 $a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$  を証明せよ。

(4)  $X^2 - 3EX + 2E^2 = 0$ ,  $X : (2 \times 2 \text{行列})$ ,  $E = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ ,  $0 = \begin{pmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$  を満足させる  $2 \times 2$  行列をできるだけ多くみつけれよ。

問 3 放物線  $y^2 = x$  上の任意の点Pにおける法線と  $x$  軸との交点をA、Pから  $x$  軸に下した垂線の足をBとすると、ABの長さが一定であることを証明せよ。

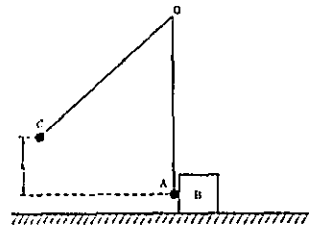
問 4  $\frac{d^2x}{dt^2} = -\omega^2 x$  を初期条件「 $x=a$  のとき  $v = \frac{dx}{dt} = 0$ 」のもとで解け。

問 5 図のように、糸の一端を支点Oに固定し、他端に質量  $m_1$  のおもりを付けてつるす。そのときのおもりの位置をAとする。水平な台の上に質量  $m_2$  の直方体の物体Bを、Aの位置にあるおもりと軽く接するよ

うに置く。糸がたるまないようにしておもりをAの位置から $h$ だけ高い位置Cに引き上げ、初速度なしに放したら、おもりはBに衝突した。

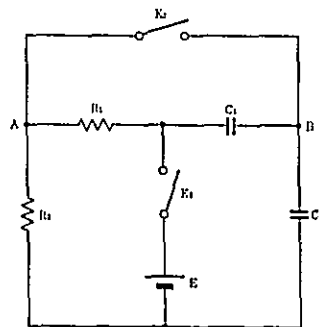
糸の長さに比べておもりの大きさが無視できるものとし、また、おもりと物体Bとの衝突は完全弾性衝突で、衝突は1回だけ起こるものとして、次の問いに答えよ。重力加速度は $g$ とする。

- (1) おもりがBに衝突する直前の速さ $v_1$ はいくらか。
- (2) 衝突直後のBが台上を衝突直前のおもりの運動方向にすべり出すときの速さ $v_2$ はいくらか。 $v_1$ を用いて表せ。
- (3) Bが台上を距離 $s$ だけ動いて止まったとすれば、Bと台との間の動摩擦係数 $\mu$ はいくらか。 $v_2$ を用いて表せ。
- (4) 衝突後おもりがはね返って登り得る最高の高さ $x$ は、Aよりどれだけの高さか。



問 6 図のような回路において、Eは内部抵抗の無視できる起電力 $E$ の電池、 $R_1$ 、 $R_2$ はそれぞれ抵抗値 $R_1$ 、 $R_2$ の抵抗、 $C_1$ 、 $C_2$ はそれぞれ容量 $C_1$ 、 $C_2$ のコンデンサー、 $K_1$ 、 $K_2$ はスイッチを表している。これについて、次の問いに答えよ。

- (1)  $K_2$ を開いたまま $K_1$ を閉じ、十分時間がたったとき、コンデンサー $C_1$ に加わっている電圧はいくらか。
- (2) このときコンデンサー $C_2$ に蓄えられるエネルギーはいくらか。
- (3) このとき電池Eが単位時間に失うエネルギーはいくらか。
- (4) 次に $K_1$ を閉じたまま $K_2$ も閉じ、十分時間がたったとき、 $C_1$ に加わっている電圧はいくらか。
- (5)  $K_1$ を閉じたまま $K_2$ を閉じたとき、(4)の状態になるまでに、 $C_1$ の電気量はいくら変化するか。





問 7 次にアからコまでの10種類の実験がある。

- ア 炭酸ナトリウム水溶液に塩酸を加える。
- イ 塩化ナトリウム水溶液に硝酸銀水溶液を加える。
- ウ 酢酸水溶液に水酸化ナトリウム水溶液を加える。
- エ 塩化ナトリウム粉末に希硫酸を加えて熱する。
- オ 塩化アンモニウム水溶液に多量の水酸化ナトリウムを加える。
- カ 硝酸ナトリウム水溶液に硫酸カリウム水溶液を加える。
- キ 硫酸アンモニウム水溶液に塩化バリウム水溶液を加える。
- ク 炭酸アンモニウム水溶液に塩化カルシウム水溶液を加える。
- ケ 水酸化カリウム水溶液に硫酸ナトリウム水溶液を加える。
- コ 水素ガスと酸素ガスを2：1の体積比で混ぜ、室温で放置する。

これについて、次の問いに答えよ。

- (1) 上の実験のうち、気体が発生する場合の実験の記号（ア、イ、ウ、……コ）をすべて挙げ、それぞれについて発生する気体の化学式を書け。
- (2) 上の実験のうち、難溶性塩が沈殿する場合の実験の記号をすべて挙げ、それぞれについて沈殿する塩の化学式を書け。
- (3) 上の(1)、(2)以外で、反応して水の生成する場合の実験の記号をすべて挙げ、それぞれについて化学反応式を書け。

問 8 次のA、Bに答えよ。

A 次の熱化学方程式が与えられている。

- (a)  $C + O_2 = CO_2 + 94.1 \text{ k cal}$
- (b)  $CO + \frac{1}{2}O_2 = CO_2 + 67.6 \text{ k cal}$
- (c)  $C + CO_2 = 2CO + Q \text{ k cal}$

これについて、(1)、(2)の間に答えよ。

- (1) 熱化学方程式(c)におけるQを求めよ。
- (2) 反応(c)において、全体の圧力を変えないで温度を上昇させると、COの量は増加するか、減少するか、または変わらないか。理由をつけて答えよ。

B 1価アルコールxの3.7gに十分な量の金属ナトリウムを作用させたところ、27°C、750mmHgで624mlの水素ガスが発生した。また、37.0gのxに重クロム酸カリウム49.0gを含む硫酸酸性水溶液を用いて、重クロム酸カリウムが完全に消費されるまで反応させると、カルボン酸と14.4gのアルデヒドが生成した。

これについて、次の(3)、(4)、(5)に答えよ。ただし、これらの反応はいずれも副反応を伴うことなく、また実験操作中に生成物の損失がないものとする。

- (3) xの分子量はいくらか。
- (4) xに相当する化合物の分子式を求めよ。
- (5) 使用したxのうち何%がアルデヒドになったか。

## 試験に合格すると

あなたが見事に試験に合格したとして、あなたは、翌日からすぐ隊員になり、ただちに開発途上国へ出発……というわけではありません。協力隊では、前にもちょっと触れましたが、派遣前に日本国内で約4ヵ月間の「派遣前訓練」を受けてもらうことになっております。この訓練は、協力隊の訓練所で、合宿して行なわれます。

派遣される国の事情や、日本とは異なる文化に対する理解、協力活動のありかたなどについて勉強していただくと同時に、それぞれの派遣国で使う言葉の勉強をしていただくこととなります。訓練時間は、それぞれの言葉の勉強のためにもっとも多くあてられます。

派遣前の訓練は、毎回の募集のつど、試験に合格した人を、あとでお話するような「勤務先の体職措置」あるいは技術研修の必要度などに応じて、2隊に分け、別々のスケジュールで行なわれます。この派遣前の訓練のほか、派遣国に着いてから1ヵ月間の「現地訓練」があるわけですが、あなた方のさしあたっての関心は、「どんな技術があればよいのか」、「どんな試験があるのか」ではないかと思われるので、これ以上くわしく訓練について紹介するのはやめましょう。

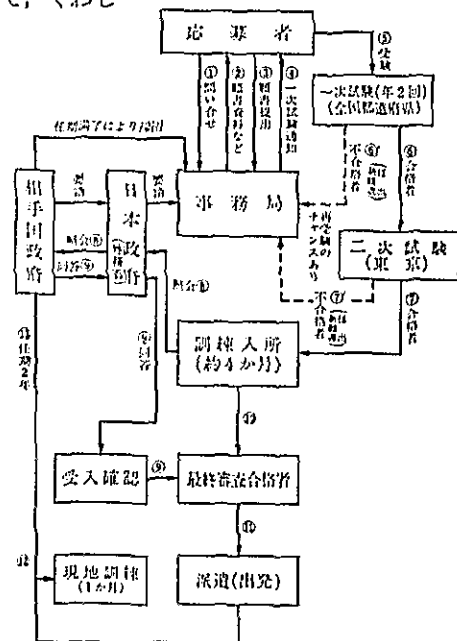
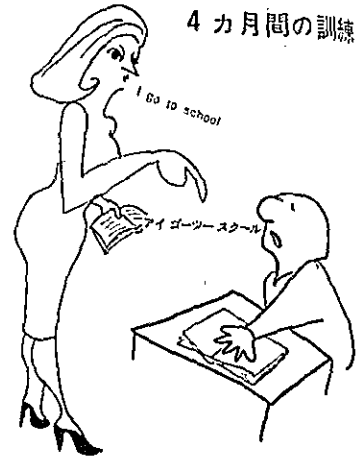
なお、協力隊では、試験の成績が優秀であるのに、たまたま他にさらに優秀な人がいて、その回の合格者とするのができない人のために、「有資格者制度」というものを設けていますので、くわしく知りたい方は協力隊事務局へ問い合わせてください。

### 〔応募から出発まで〕

さて、ここで、応募から出発までの手続的な流れを、図で説明しておきましょう。図の番号順に見てください。

- ① あなたが事務局へ問い合わせると、
- ② 事務局から願書や資料などをお送りします。
- ③ あなたが願書を提出されると、
- ④ 事務局から受験票などをお送りします。
- ⑤ いよいよ第1次試験を受けることになります。
- ⑥ 1次試験に合格したあなたは、次に2次試験を受けます。  
(⑥ 不合格になった場合でも、あらためて願書を出せば、次の回に再び応募できます)
- ⑦ 2次試験に合格すると、あなたは訓練所へ入所します。  
(⑦ 不合格でも、願書を再度提出すれば、次回にまた応募できます)
- ⑧ あなたが訓練を受けている間に事務局では、派遣を要請してきた国の政府に対して「こういう人を受け入れるか」という照会を行ないます。
- ⑨ 相手の国から「受け入れる」との回答があり、
- ⑩ あなたが訓練終了の際の最終審査に合格すれば、
- ⑪ あなたは、いよいよ出発です。
- ⑫ 現地で1ヵ月間の訓練を受けます。
- ⑬ そして、2年間、協力活動に従事することになります。

### 4ヵ月間の訓練

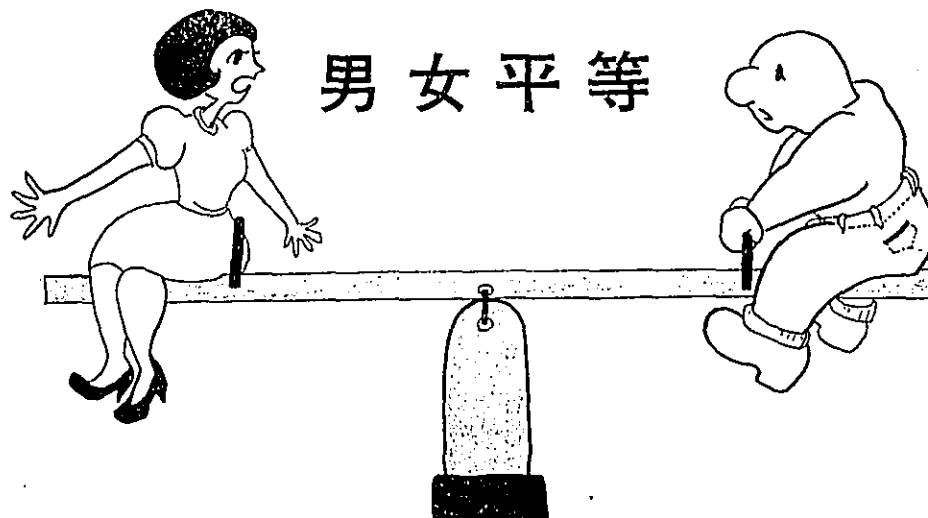




### 勤め先を休職して参加できるか

あなたが勤めている職場で、あなたが「休職」して協力隊に参加することを認めてくれれば、休職して参加することができます。協力隊事務局としても、できるだけ、そういう形であなた方が協力隊に参加されることをすすめています。もし、あなたが「有給休職」で参加する場合は、協力隊は、あなたの所属先に対して「人件費を補てんする制度」を設けています。この制度は、所属先が地方公共団体であっても、民間の会社や団体であっても、適用されます（ただし、国家公務員の場合は「派遣法」の適用を受けることになります）。そして、その所属先が民間の会社や団体である場合は、人件費を補てんしたうえ、さらに「間接経費を補てんする制度」もあります。

これらの制度を適用して、あなたを有給休職にさせていただくため、協力隊事務局では、あなたの勤務先の人事担当者に積極的に働きかける体制をとっています。しかし、休職など人事に関する問題は、その職場職場によって、それぞれ違った事情があり、相談がすんなりとまとまる場合は、むしろ稀です。職場によっては「願書を提出する際に、直属の上司の承認を得ておくこと」を条件に休職を認めるようにしているところもあります。一般に、こういう話し合いがまとまるまでには、かなりの時間を要するのが普通ですから、少しでも早く協力隊事務局に相談してください。とにかく早め早めに対処されるよう、おすすめします。



## 現地での活動は

協力隊員が開発途上国で行なう協力活動は、前にも紹介しましたように、実にさまざまです。しかし、いずれの場合も、隊員一人ひとりが自分で、自分の仕事と生活の両面で、よりよい適応策を考え出していかねばなりません。

それを前提としたうえで、多種多様な隊員の活動を典型的に整理してみますと、次の四つのパターンに分けられます。

- ①村 落 型——その土地の村落の一員として農村社会にとけこみ、デモンストレーションや普及活動をするもの
- ②教 室 型——職業訓練や日本語指導、理数科教育等の分野で実習・指導にあたるもの
- ③現場勤務型——土木、建築、通信などの関係の現場工事に従事するもの
- ④本庁・試験場勤務型——設計や試験・研究を任務とするもの

これらの「型」によって、職場での人間関係や勤務の形態に、かなり大きな差があるのです。そして、その職場環境の違いのほか、国の違い、そこに住む人びとの違い、地理的条件の違いなどによって、隊員一人ひとりを取りまく環境は違ってきます。

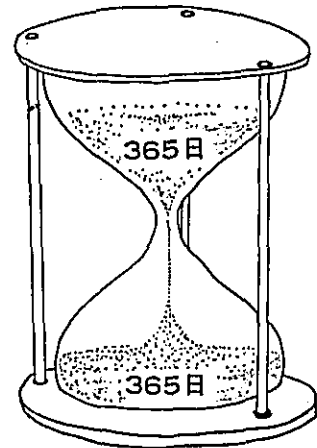
こういう状況のなかで日本の青年が協力活動を続けるのは、たしかに苦勞なことですが、その苦勞を積み重ねていく過程は、すごく創造的で、文化的な香りの高い仕事だともいえます。

### 〔活動の期間(任期)〕

協力隊員が協力活動する期間、つまり任期は、2年間です。ただし、その国の政府から「もっと活動を続けてほしい」という要請があり、隊員自身に「その要請を受けてもいい」という気持ちがあって、かつ周囲の事情がそれを許すと認められる場合、事務局は任期の延長を認めます。

### 〔海外手当〕

協力隊員の活動にかかわる経費は、すべて日本の国の予算でまかなわれますが、これは、いわゆる「報酬」ではありません。生活費も、その土地の人びとの平均的な生活とあまりかけはなれることがないよう、日本国内の水準からみると低くおさえられています。国によって若干の増減がありますが、いま支給されている海外手当は1カ月200ドル(基準)です。住宅は、その国の政府から提供



任 期 2 年

されるのが原則です。

#### 〔災害補償〕

派遣前訓練に入ってから、任期を満了して日本へ帰るまでの間に、不幸にして病気にかかったり、ケガをしったりしたような場合のために、各種の手厚い補償制度があります。

### 帰国後は、どうなるのか

いま勤めている職場を休職して参加する人は別にして、いまの職場を退職して参加する人、あるいは学校を卒業してすぐ参加する人は、帰国後、就職・再就職の問題に直面します。協力隊事務局では、そういう方がたのために就職に関する情報を提供しているほか、具体的な世話活動も行なっていますが、協力隊員としての活動に誇りをもちながら、仕事や生活を通じて得る体験を、しっかり自分のものとしていけば、帰国後の生活に不安を抱く必要はないはずです。

現に、発足いらいすでに2,200人を超えた帰国隊員の多くは、帰国後も、協力活動を通じて得た体験を生かして、さまざまな分野で立派に活躍しており、その体験を広く日本国民に伝えるための活動も、さまざまな形で行なっています。

なお、いまの勤め先をやめて参加する人（自営の人を含む）や学校を卒業してすぐ参加する人たちのためには、帰国後の社会復帰資金として「国内積立金」が、訓練開始から任期満了の翌月まで毎月一定額積み立てられ、帰国後一括して支給されます。その金額は、毎年、日本国内の物価や給与の推移に見合って改定されるようになっていますが、現在の金額は6万1,600円となっています。この額は54年度には増額される予定です。

地球のどこかで、  
いま見知らぬ友が君を待っている



## 協力隊への道は、あなた自身で拓く

協力隊への道は、あなた自身が確固たる決意をし、それを実行することから始まります。そして、その決意と行動力の強さいかんで道は拓かれもするし、閉ざされもします。

〔決意し、実行すること〕

前回受験したA君は、実に9年ぶりのチャレンジでした。9年前に願書を出しましたが、遠洋航海に出たりして、なかなか試験に出席できず、周囲の事情もあって、一時、願書を出すのを中断していたのですが、暗れて9年ぶりに、それらの問題を解決して、堂々参加しました。

現在バングラデシュで活躍中のB君もそうです。協力隊参加を決意すると、大学の学部を変更して農学を学び、卒業後は実務経験を積むために高校の農業の先生や大学の講師等をやって、「これでよし」と協力隊に参加しました。その間、7年の歳月が流れています。

C君も、一度は願書を出しましたが、もっと技術に磨きをかけるために、まず派米研修に参加。アメリカから帰国後、あらためて協力隊に参加しました。

学校卒業後、農家実習に励んだ人、農業機械メーカーに研修に行って満を持した人等々、それぞれの形で自ら道を拓いています。いったん、こうと決めたら、ひたすら実行すること。その決意の固さの度合いが、問題を解決の方向へと向けます。この点を強調するのは、隊員として開発途上国へ行ってからも、その心構えが隊員活動の基本になるからです。赴任すれば、いろいろな問題に直面

します。すべての環境がととのっていて、「さあ、おやりください」といった「お客さま扱い」は、隊員の場合、望めません。「予算がない」「材料がない」「ちっとも協力してくれない」等々の問題が、日常の問題として起こります。そういうとき、「誰かがすべての環境をととのえてくれなければ仕事ができない」といつて待っていたのでは、なにも動かないのです。他人のせいにして不平不満をいつていたのでは、事態は一步も前進しないのです。「自分が主役なのだ」という認識にたつて、半歩でも一步でも前進する進取性がほしいのです。たとえ高い技術をもち、語学がよくできて、ほんとうに協力隊を自分のものとしているかどうか、結果的には、選考試験の面接でも問われることになります。

〔家庭環境をととのえる〕

「なにも、そんなに力まなくても……」と思われるかもしれませんが、しかし、協力隊参加は、国内での就職とは違うのです。国内での就職ならそれほど問題にならないことでも、海外へ赴任するとなると、前途に大きくたちはだかってきます。おそらく、この時点で、協力隊志望者の何割かの人は参加を断念するでしょう。

母親と子ども一人だけという家庭で、お母さん



フィリピンで野菜栽培を指導する隊員

から「外国へなんか行かないでくれ」と涙ながらに説得されたとしたら、あなたは初心を貫くべきか、お母さん孝行を考えるべきでしょうか。Dさんは「長い目で見れば親孝行にもなる」と信じて、お母さんの反対をふりきって参加しました。

E君は、結婚するとき、「将来、協力隊に参加する」という条件で結婚しました。奥さんも納得していました。ところが、合格したときには子どもが生まれていて、理解しているはずの妻が涙ながらに反対しました。その涙の前に、彼は黙って協力隊参加を断念しました。

F君は、協力隊を目指している間にフィアンセができました。合格後、自分の両親を説得し、フィアンセも2年間待つことを承諾してくれましたが、その両親を説得することができず、彼は協力隊よりも結婚を選びました。

Gさんは、両親は説得したものの、病床に伏しているお婆ちゃんの「わしの最後を見届けておくれ」という涙に抗することができませんでした。

H君は、妻を説得し、妻の両親も説得できたものの、自分の両親を説得できずに断念しました。そのときのH君のお父さんからの事務局への電話は、「たとえ、お国のため、世界のためとはいえ、自分の家庭を破壊してまで奉仕すべきでしょうか」という訴えでした。

いくつかの例をあげましたが、これらは皆さんの日常の問題なのです。とくに女性にとっては、「年ごろの娘が一人でアフリカへ行くなんて…」といったお母さんの反対は、娘を思う気持ちからすれば、むしろ当然のことだと思います。そこを、

「親子の断絶だ」として訣別してくるのではなく、ねばり強く理解を求める必要があるでしょう。日本人同士の対話も説得もできずに、はたして外国人との協力ができるでしょうか。

そういう際、一つのカギとなるのが『決意の度合い』なのです。お母さん方の当初の反対は、無意識に、娘の決意の固さや真剣さを試している場合が多いのです。「いいかげんな思いつきではない」「娘は真剣なのだ」と知ったとき、誰よりも熱烈な協力者、支援者になってくれるのは家族の方がたです。そのような例をあげれば、きりがなほほどです。

事務局としましては、こういう家庭環境の問題には、いっさい関与しません。協力隊を志望される皆さん方が20歳以上の「大人」だからです。自分の身邊の問題を解決できないような人には、協力隊参加を遠慮していただくなくてはなりません。

#### 【職場環境をととのえる】

次に、いま勤めている人の場合は、職場との問題があります。隊員は選考試験で決定されますから、どうしても、「試験に受かってから、上司に話そう」ということになります。その気持ちがわからないではありませんが、試験に合格してから訓練に入るまでの期間は、長くて3カ月、短い人では1カ月しかありません。「自分の都合だけで勤め先に多くの迷惑をかけるわけにはいかない」となれば、問題は深刻です。

土木の職種で合格したI君は、そのとき数千万円の工事をまかされていました。「工事の完成後

バングラデッシュで冷凍空調の技術を指導する隊員



なら参加できるが、いま辞めれば、会社に大きな損害を与えてしまう」と考えて、参加を断念しました。

Jさんは、中学の先生で、3年生を担当していました。彼女は「いま自分が協力隊を選べば、生徒たちの一番大事なときに、彼らを置き去りにしていくことになってしまう」「しかし協力隊への合格も長年にわたる挑戦の結果である」と、教師の責任を果たすべきか自分の初心を貫くべきかで悩みました。悩みぬいた末、「せめて学期が終わるまでは…」と協力隊を辞退したのでした。後に彼女は再び協力隊に挑戦して、見事に合格しました。教え子たちは歓送会を開いて協力隊参加を祝福してくれましたが、そのとき彼女の顔は涙でぐしゃぐしゃでした。

同じように中学の先生だったK君は、合格したとき、たまたま教え子の一人が交通事故で重傷を負いました。それまでに何度も協力隊に挑戦しましたが、希望する職種の派遣要請がなかったり、学期途中だったりして参加できず、2年ほどして、やっと得たチャンスでした。しかし彼は「重傷の教え子を置いていくことはできない。せめて、その子が元気になるまでは…」と協力隊を辞退しました。それからまた2年ほどして、彼は暗れて協力隊に参加しました。

L君は、中学を出てから一貫して親がわりに面倒を見てくれ、一人前のヒナの鑑別師に育ててくれた企業主に相談したところ、逆に企業主から説得されて協力隊参加を断念しました。しかし初心断ちがたく、1年後再び受験し、合格しました。

ところが今度は、その企業主を紹介してくれた兄さんから、「恩を仇で返すのか」と反対されて、また断念してしまいました。それからさらに1年後、どうしても協力隊を諦めきれない彼は、3度目の挑戦で合格。「今度こそ、ケンカ別れしても…」と企業主と交渉してみたところ、彼の真剣さにうたれた企業主は歓送パーティーを開いて祝ってくれました。

地方公務員のM君は、休職できない限り、協力隊への参加もむずかしいという事情がありました。上司に相談したところ、「現場としては反対だ」といわれました。「休職で出られると、その代わりの人の補充ができないため、2年間、同僚に負担がかかってしまう」というわけです。一方、人事課では「休職可能」との返事でした。いよいよ参加というとき、現場の上司は「帰ってきて、ここへは戻れないぞ」という冷たい言葉で彼を送りました。帰国後しばらくして、彼はその職場を退職しました。

こうした例は、特別に拾い出したわけではありません。誰もが多かれ少なかれ経験することです。ですから、志願した時点で、当然、覚悟すべき問題です。問題になってびっくりして、すぐ協力隊参加をやめるくらいなら、むしろ、初めから波風を立てないほうがよいかもしれません。その意味で、ここでもやはり「決意と実行」が大事なのです。

「なにがなんでも協力隊を目指せ」といっているわけではありません。勤め先や家庭に迷惑をかけて協力隊に参加するのではなく、皆に祝福され





ガーナで土木建築に  
従事する隊員

参加するのが、もっとも望ましい形なのです。そのためには、冷静で持続する情熱が必要で、それを支えるのが固い決意です。

#### 【語学への挑戦】

「協力隊に参加してみたいが、英語の試験があるから…」と諦めてしまう人が多いのではないのでしょうか。しかし、考えてみてください。協力隊は決してエリートといわれる人のものではありません。たとえば、漁業に従事する20歳から35歳までの日本の男性は、おおよそ5万人くらいでしょう。そのうち「オンは英語が堪能だ」と自信をもっていえる人が何人いるのでしょうか。自動車整備2級の技術者のなかに、英語がペラペラだという青年を見いだすことは容易でしょうか。日本じゅう探せば、何人かはいるかもしれませんが、そのうちから家庭環境や職場環境をととのえて協力隊に参加できる人を探すとすると、その数はごく限られてしまいます。

一方、開発途上国へ赴任したときの状況を思い浮かべてみてください。日本を出発して任国の首都に着くまでは、何人か仲間もいます。そこから協力隊の現地スタッフに連れられて片田舎の任地に着きます。そこでスタッフから「それでは、ここで2年間がんばってください」といわれて、ただ一人残されるとき、多くの隊員は「もう帰っちゃうのですか」と、なんとも不安なまなざしをスタッフに向けるものです。その日から隊員は、その土地の言葉で、その土地の人びとと意志を通じさせなければ、水を飲むことも、食事をするこ

もできないのです。日常生活だけならまだしも、仕事上の交渉をやり、レポートも書かなければなりません。いくらすぐれた技術があっても、その職場の人たちと話ができないというのでは、まったく仕事になりません。やっぱり語学は必要なのです。

「協力活動をするには語学力が必要不可欠だ」、しかし「国内に技術も語学も…という人が少ない」となれば、協力隊事務局としては、せめて、語学にチャレンジしようという意欲をもち、現に語学学習に努力している人を選んで訓練しよう、ということになります。高校を出た人なら、過去に6年間は英語を勉強しているはずで、そして、願書を出してから1次試験を受けるまでに1カ月半はあります。海外での活動を目指すなら、たとえ1カ月半でも自分なりに準備する心構えがほしいものです。英語の試験問題は、決して、才能がなければ答えられないというような問題ではありません。満点をとれともいっていません。「仕事が忙しかったから…」「英語とは離れていたから…」というのは、いいわけにすぎません。過去の試験でも、自動車整備の人の英会話はかなり良い成績が出ました。それぞれの分野である程度の力を持っている人なら、そこまで技術や技能を磨いた意志力で英語の勉強にも努力する心構えさえあれば、協力隊の英語試験はそれほどむずかしいものではない、という証拠でしょう。

「英語…」と聞いただけで、頭から「とてもダメだ」と諦めてしまうような英語コンプレックスをなくし、「スタートラインは皆同じだ」と考え

テニシアで活躍する  
看護婦隊員



て、中学の教科書をあらためて見直してください。協力隊では、英語の試験でも、現在の英語力ばかりでなく、人物や意志力、心構えなども見ようとしているのです。

#### 〔協力隊を知る〕

次に、協力隊に参加しようとするからには、協力隊の活動なり趣旨なりを理解するように、自分なりに努力してください。協力隊に「目的」や「性格」がある以上、協力隊が求める「隊員像」というものもあります。そうした知識を得ることなしに、自分の主義なり動機なりを自分だけで一人よがりにつくりあげ、それで力んでみても、はじまりません。場合によっては、あなたの求めているものと、協力隊の求めているものが、異なっているかもしれません。自分で自分なりのユートピアを求め、それと協力隊参加とを勝手にダブらせて、開発途上国へ赴任してみたら「違っていた」では、すでに遅いのです。

たしかに協力隊には、一種のロマンがあるかもしれませんが、その活動には困難と苦勞がともないます。憧れているうちはかまいませんが、参加すると決意したときは、いったん自分の頭のなかでふくらませた風船を、あえて、つぶす必要があります。冷静な目で事実を眺め、健康は？ 活動の実情は？ 苦勞な点は？ などといった情報を得るように心がけてください。それによって、おのずから、協力隊の求める「像」と、あなたの心構えとが一致してくるはずで、単に「海外へ行ってみたい」「英語を勉強してみたい」などといっ

た、マトはずれな答えは出てこなくなるはずで、

#### 〔技術試験〕

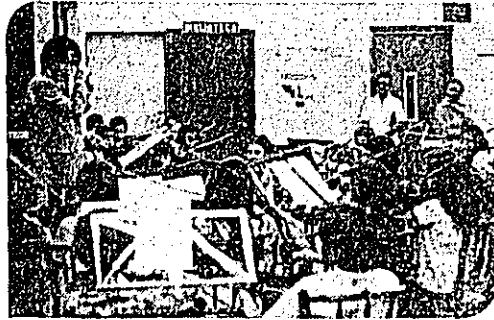
前に技術・技能のレベルについて一応の目安を書きおきましたが、100近くもある職種ごとに見ると、技術試験の問題の内容も千差万別です。

どういった場合に技術試験に不合格になるかといいますと、次の二つのケースがあります。

- ① 協力隊の試験は「競争試験」ですから、あなたの技術よりすぐれた技術の人がいれば当然、劣っているあなたのほうが落ちます。
- ② 相手国からの要請に適合しない場合があります。よく、試験の倍率を心配される方がいますが、協力隊の試験の場合、倍率はあまり心配する必要がないと考えていただければ結構です。優秀な人なら『有資格者』として留保しておき、派遣の要請があり次第、あらためて試験を受けることなしに訓練に入るシステムもあります。

逆に、過去の日本語指導の例のように、50人もの願書提出がありながら、実際には、3人の要請に対して一人の合格者しかなかったという場合もあります。事務局が故意に採用しなかったのでもありませんし、相手国から「いらぬ」といつてきたのでもありません。相手国から要請してきた業務をこなすことのできる適任者が得られなかった、ということです。

自動車整備を例にとれば、ガソリンエンジンもディーゼルエンジンもこなせる人、ガ



コスタ・リカでオーケストラを指導する隊員

ソリンエンジンが主だが部品をつくることもたのまれるので多少は旋盤も使える人、消防自動車を修理するので油圧も扱える人、職業訓練所で指導するので理論に強い人等々、それぞれ要請内容は異なります。不合格となるケースの多くは、要請に合わないためなのです。ですから、要請が違ってくれば、合格となるチャンスもあるわけです。したがって協力隊の試験の場合、不合格イコール実力不足と悲観する必要はありません。

その意味では、一度試験に落ちたからといって、それで諦めてしまうのは、少々、早合点の気味もあります。ただ、実力さえあれば、どんな要請にも応じられる可能性があるわけですから、やはり技術の練磨は大切でしょう。単に経験年数が長いからといって、実力があるとは限りません。同じ国家資格をもっている看護婦さんでも、ばくぜんと10年をすごした人と、當日ごろから職業意識を強くもっていた経験2年の人とを比べてみると、むしろ2年の人のほうが実力も上…という結果の出ることもあります。

ある人は、協力隊を目指してから毎日、他の人より30分から1時間は多く仕事をし、技術を身につけようと心がけました。2年後、見事に合格したのですが、そのときには勤め先の会社にとっても貴重な技術者となっていて、会社が退職を認めてくれない

ため協力隊を断念しました。いまでは、その会社の大事な中堅技術者として働いています。この例は、協力隊を目指して人一倍努力したが故に、協力隊を断念せざるを得なくなるという皮肉な結果となりましたが、目標をもって努力したので、ただばくぜんと与えられた仕事をこなしていた周囲の同僚より、早く技術をおぼえることができたわけで、それなりの代償を得たことができるでしょう。

協力隊に参加を志望する人は、やはり、ただばくぜんと月日を重ねるのではなく、問題意識をもち、つねに豊かな技術を吸収しようとする意欲をもってほしいものです。労働省の技能検定等の資格を取得しておくことも、選考のうえでは有利になります。

#### 〔専門理論の再構築〕

協力隊の場合、労務提供に行くのではなく、建て前として「指導」に行くわけですから、やはり、ある程度、理論的、体系的に把握している必要があります。自動車整備に例をとれば、自動車をより早く、より正確に修理することだけではなく、職業訓練所などで黒板の前で教える必要があるわけです。概して、現場経験の豊富な人ほど、大学を出たばかりの実務経験のない人に、競争試験で劣るケースが目立ちます。理論的な勉強から遠ざかっているのも、やむを得ない面もあるかと思いますが、それにしても残念なことですので、以前に習いおぼえたことを思い出す意味で、忘れかけ

エル・サルヴァドルでバスケットボールを教える隊員



ている理論面の再武装をしてほしいと思います。

#### 【動機の明確化】

最後に、単に試験に合格するためだけでなく、その後の2年間の活動につながるという意味で、「初心忘るべからず」ということを強調しておきたいと思います。つまり、なんのために協力隊を志願したのかを自分なりに明確にし、心にとめておくことが大切です。

動機にはいろんなものがあるわけですが、抽象的なものより、具体的なものにしていくほうが、貫きやすいようです。抽象的なものと、どうしても、その後の環境の変化によって忘れられがちです。単なる旅行ではなく、2年間異国の地に外国人として生活の場を求め、独力で異文化に同化する試みは、大変な環境の変化です。価値観の大転換とか、いろいろな壁の前に、ややもすると自分を見失い、自分を守るのに精いっぱい、望郷の念にかられ、カレンダーの日付けを一つずつ消して、あと百何日…と帰国の日を指折り数える、ということにもなりかねません。そうして暮らす730日も、デーンと腹を据えて積極的に具体的なものに取り組む730日も、同じ2年間です。大小の挫折から立ちあがるの早いか遅いかは、協力隊への参加動機がなんであったか、という動機の明確化の度合いに大きく依存します。

それが稀薄ですと、いつの間にか、すっかり忘れ去ってしまい、「なんで自分は、こんなところにいなければならないのか」と考えこみ、やがて不平不満となつてうっ積していきます。金は残ら

ない、技術的にはマイナスになるかもしれない、勲章をもらえるわけでもない……それなのに、自分があえて協力隊を選ぼうとしているのは何故なのか、もう一度、自分の頭のなかで勝手にふくらませたロマンチックな風船を叩きつぶして、静かに自問してみてください。

あなたから、「電気もない、水道もない、暑い……などと、いくらおどされても、私は辞退しませんよ。私は、こういう動機で、自ら、行くと決めたのだから…」といった答えが返ってくるようなら、事務局としても安心してあなたを送り出すことができるでしょう。

相手の国々には、「一日も早く隊員にきてほしい」と待っている。日本国内には「行きたい」という人がたくさんいる。しかし実際には、派遣要請の半分ぐらしか満たせない、というのは、なんにも、事務局が隊員の派遣を決めているからではありません。事務局としては「一人でも多くの隊員を送りたい」と願っているのですが、相手国の要請と皆さんの「もてるもの」とが噛みあわないために、そうなるのです。

いままでお話ししてきたようなことを心掛けて、「協力隊に参加したい」と決心された以上、開発途上国からの要請に応えるようがんばってほしいと思います。開発途上国と皆さんがたの「かけ橋」である協力隊事務局としては、開発途上国からは感謝され、皆さんがたからは「やはり行ってよかった」と笑顔でいわれる日を楽しみにしています。

## 職種部門別・国別隊員派遣状況

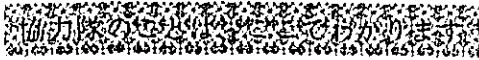
(昭和54年3月1日現在)

職種部門	地 域		ア ジ ア			大洋州		中 南 米				中 近 東			ア フ リ カ				計						
	国 名	イ リ ビ ン	カ ン ボ デ ィ ア	マ レ イ シ ャ	ラ オ	ネ パ ール	バ ン グ ラ デ シ ュ	ト ン ガ	西 サ モ ア	ホ ン デ ュ ラ ス	エル・サルヴァドル	コ ス タ リ カ	パ ラ グ ア イ	ボ リ ウ ェ イ ア	シ リ ア	テ ヌ ニ ジ ア	モ ロ ッ コ	エ テ イ オ ビ ア		ケ ー ン ヤ	ガ ー ナ	マ ラ ウ イ	ザ ン ビ ア		
派 遣 中	農 林 水 産	30	(2) 13			9	31	2	(1) 2	10	2	1	(1) 5	(1) 15	3	5		21	8	2	9	(1) 8	(6) 176		
	製 造	(1) 6	1				1			1	1		1		1					1	2		(1) 15		
	保 守 操 作	18	23			5	5	2	5	2	1		1		3	10		18	13	4	17	32	159		
	土 木 建 築	1	10			8	1		3						4	1	14		9	5	7	(1) 13	(1) 77		
	保 健 福 祉	(2) 2	(2) 3			(1) 11			1						(1) 1	(5) 6			(1) 1		(2) 20		(4) 45		
	事 務 文 化	(1) 1	(5) 5			(1) 1	(2) 2			(3) 4	(2) 2	3		(2) 7	(1) 1				(5) 5	(1) 1		4	1	(2) 37	
	教 育 訓 練	(3) 9	(4) 6			4	1			(2) 6	(1) 4	(3) 9		1	(1) 1	(2) 7	1		(5) 16	(7) 16	(4) 17	1	(3) 99		
	計	(7) 67	0	(13) 61	0	0	(12) 38	(2) 41	4	(1) 11	(5) 23	(3) 10	(3) 13	(1) 7	(2) 8	(4) 25	(7) 28	20	0	(10) 69	(2) 28	(7) 30	(27) 82	(1) 43	(107) 608
国	農 林 水 産	(5) 239	7	(2) 71	(1) 83	91	33	16	3	6	2				2		60	12	38	(5) 122	(1) 8	11	(14) 804		
	製 造	8		4	6	2	2									1		3	(1) 4	(1) 3			(2) 33		
	保 守 操 作	12		10	3	45	12	3	3	5	2	2				1	2	20	76	32		26	44	298	
	土 木 建 築	21		17		51	17			8							45	12	23	20		36	1	251	
	保 健 福 祉	(3) 3		(6) 10	(13) 14	(2) 10	(3) 35			(2) 2					(1) 1	(9) 9		(1) 14		(8) 8	(2) 22			(10) 128	
	事 務 文 化	(3) 5		(3) 4	(1) 2	(1) 4	(2) 2								(1) 1	(1) 1		(1) 9	(1) 1	(1) 28		(1) 3		(4) 60	
	教 育 訓 練	(11) 59	(1) 9	(34) 187	(16) 23	(19) 47	20	16		4		(14) 62	(3) 7			(1) 10	(1) 6	3	9	(13) 46	(7) 39	(3) 13	17	(1) 577	
	計	(22) 347	(1) 16	(45) 303	(31) 131	(22) 250	(37) 121	35	6	(2) 25	4	(14) 64	(3) 7	0	0	(2) 14	(11) 18	110	(2) 79	(15) 188	(4) 252	(7) 0	(27) 108	73	(282) 2,151
合 計	農 林 水 産	(5) 269	7	(4) 84	(1) 83	91	42	47	5	(1) 8	12	2	1	(1) 5	(1) 17	3	65	12	59	(5) 130	(1) 2	(1) 17	(1) 19	(20) 980	
	製 造	(1) 14		5	6	2	2	1			1	1		1		2		3	(1) 4	(1) 3	1	2		(3) 48	
	保 守 操 作	30		33	3	45	17	8	5	10	4	3		1	3	11	2	20	94	45	4	43	76	457	
	土 木 建 築	22		27		51	25	1		11					4	1	59	12	32	25	7	(1) 49	2	(1) 328	
	保 健 福 祉	(5) 5		(8) 13	(13) 14	(2) 10	(4) 46			(2) 3					(2) 2	(14) 15		(1) 14		(9) 9	(4) 42			(14) 173	
	事 務 文 化	(4) 6		(8) 9	(1) 2	(1) 4	(3) 3	(2) 2			(3) 4	(2) 2	3		(2) 7	(2) 2	(1) 1		(1) 9	(6) 6	(2) 29	(3) 7	1	(67) 97	
	教 育 訓 練	(14) 68	(1) 9	(38) 193	(16) 23	(19) 47	24	17		4	(2) 6	(15) 66	(6) 16		1	(1) 11	(3) 13	4	9	(18) 62	(7) 39	(7) 16	(7) 30	18	(154) 676
	計	(29) 414	(1) 16	(68) 364	(31) 131	(22) 250	(49) 159	(2) 76	10	(3) 36	(5) 27	(17) 74	(6) 20	(1) 7	(2) 8	(6) 39	(18) 46	130	(2) 79	(25) 257	(50) 280	(7) 30	(64) 190	(1) 116	(389) 2,759

(注) ① ( ) 内は女性。②シニア隊員を含む。

## 隊員派遣のあゆみ

- 昭和40年 4月 日本青年海外協力隊が政府事業として発足。海外技術協力事業団が委託をうけて事業を実施することになった。  
協力隊事務局は、東京都市ヶ谷の海外技術協力事業団内に事務所を置き、隊員候補生の派遣前訓練は横浜市根岸の海外移住センターで実施した。
- 12月 昭和40年度第1次隊（48名）がラオス、カンボディア、マレーシア、フィリピンの4カ国へ初めて派遣された。
- 昭和41年 3月 ケニアへ初派遣。派遣国5カ国となる。  
9月 インドへ初派遣。派遣国6カ国となる。  
12月 タンザニアへ初派遣。派遣国7カ国となる。（タンザニア派遣隊員は42年3月に出発）
- 昭和42年 9月 モロッコへ初派遣。派遣国8カ国となる。
- 昭和43年 3月 東京都渋谷区広尾に協力隊事務局の新庁舎が完成し、移転。新庁舎の建物は本館（事務局、訓練所）別館（宿泊棟）からなり、昭和45年度と46年度に増築され、現在に至っている。  
6月 日本青年海外協力隊事務局が海外技術協力事業団の外局となる。  
9月 エル・サルヴァドルへ初派遣。派遣国9カ国となる。
- 昭和44年 3月 最後のカンボディア派遣隊員出発。同国政変のため44年度から派遣中止。
- 昭和45年 1月 シリアへ初派遣。派遣国10カ国となる。  
3月 ザンビアへ初派遣。派遣国11カ国となる。  
12月 ネパールへ初派遣。派遣国12カ国となる。
- 昭和46年 8月 マラウイへ初派遣。派遣国13カ国となる。
- 昭和47年 9月 エチオピアへ初派遣。派遣国14カ国となる。  
12月 西サモアへ初派遣。派遣国15カ国となる。
- 昭和48年 3月 トンガへ初派遣。派遣国16カ国となる。  
8月 バングラデシュへ初派遣。派遣国17カ国となる。
- 昭和49年 8月 政府の海外技術協力事業の一本化に伴い海外技術協力事業団を解消、新たに国際協力事業団が設立され、協力隊の事業は同事業団法第21条の第2号業務として明文化され、これを契機に名称を「青年海外協力隊」と改めた。  
10月 コスタ・リカへ初派遣。派遣国18カ国となる。
- 昭和50年 4月 テュニジアへ初派遣。派遣国19カ国となる。  
8月 最後のラオス派遣隊員出発。以後、同国の政変により52年から派遣が中断されている。
- 昭和51年 2月 ホンデュラスへ初派遣。派遣国20カ国となる。
- 昭和52年 4月 最後のエチオピア派遣隊員出発。同国政変により52年度から派遣一時中断。  
8月 ガーナへ初派遣。派遣国21カ国となる。
- 昭和53年 2月 パラグウェイへ初派遣。派遣国22カ国となる。  
4月 ボリヴィアへ初派遣。派遣国23カ国となる。  
12月 インドへの派遣終了。
- 昭和54年 4月 リベリアとソロモン諸島へ初派遣予定。（派遣国25カ国となる）  
協力隊の駒ヶ根訓練所が長野県駒ヶ根市に開所予定。



## 青年海外協力隊事務局

〒150 東京都渋谷区広尾4-2-24  
電話 03-400-7261

都道府県庁では………

県名	主管部課名	〒	住所	電話
北海道	総務部青少年婦人事務局育成係	060	札幌市中央区北3条西6丁目	011-231-4111内2399
青森	総務部文書課外事係	030	青森市長島1-1-1	0177-22-1111内2209
岩手	企画調整部青少年対策課	020	盛岡市内丸10-1	0196-51-3111内3177
宮城	総務部総務課外事係	980	仙台市本町3-8-1	0222-63-2111内3335
秋田	農政部普及教育課海外担当	010	秋田市山王4-1-1	0188-60-1495
山形	企画調整部青少年婦人課	990	山形市松波2-8-1	0236-30-2198
福島	生活福祉部県民生活課外事係	960	福島市杉妻町2-16	0245-21-1111内2178
茨城	生活福祉部青少年婦人課育成係	310	水戸市三の丸1-5-38	0292-21-8111内438
栃木	農政部農業経済課国際指導係	320	宇都宮市鳩田1-1-20	0286-23-2305
群馬	県民生活部消費生活課外事係	371	前橋市大手町1-1-1	0272-23-1111内4324
埼玉	総務部旅券課外事係	336	浦和市高砂3-15-1	0488-24-2111内2335
千葉	社会部青少年婦人課育成係	280-91	千葉市市場町1-1	0472-23-2332
東京	都民生活部婦人青少年部企画課	100	千代田区九の町3-8-1	03-212-5111内24-353
神奈川	渉外部国際交流課交流班	231	横浜市中区日本大通9-1	045-201-1111内3260
新潟	総務部県民広域課外事係	951	新潟市学校町通一番町602	0252-23-5511内3032
富山	総務部総務課外事係	930	富山市新倉曲輪1-7	0764-31-4111内335
石川	総務部総務課外事係	920	金沢市坂坂2-1-1	0762-61-1111内221-222
福井	企画調整部青少年課育成係	910	福井市大手3-17-1	0776-21-1111内281
山梨	総務部総務課外事担当	400	甲府市丸の内1-6-1	0552-37-1111内238
長野	社会部青少年家庭課青少年係	380	長野市大字南長野字瑞下692-2	0262-32-0111内343
岐阜	総務部青少年課国際交流係	500	岐阜市森田1-1	0582-72-1111内2198
静岡	労働部後継者養成課業務係	420	静岡市道手町9-6	0542-21-2815
愛知	総務部青少年婦人課	460	名古屋市中区三の丸3-1-2	052-961-2111内2247
三重	企画調整部広域課渉外係	514	津市広町13	0592-24-2036
滋賀	教育委員会事務局文化部青少年課育成係	520	大津市京町4-1-1	0775-24-1121内307
京都	民生労働部社会福祉対策室青少年育成担当	602	京都市上京区下立売通新町西入ル	075-451-8111内2313
大阪	企画調整部青少年対策育成係	540	大阪市東区大手前之町2	06-941-0351内2374
兵庫	知事公室外務課海外協力係	650	神戸市東灘区下山手通5-1	078-341-7711内2240
奈良	総務部青少年課指導育成係	630	奈良市登大路町	0742-22-1101内212
和歌山	青少年局育成課青年班	640	和歌山市小松原通1-1	0734-32-4111内2056・2057
鳥取	総務部婦人青少年課	680	鳥取市東町1-220	0857-26-7075
島根	農林水産部農政課業務係	690	松江市駅前1	0852-22-5108
岡山	県民生活部県民課海外係	700	岡山市内山下2-4-6	0862-24-2111内2605
広島	総務部総務課外事係	730	広島市基町10-52	0822-28-2111内2031
山口	企画調整部県民生活課青少年係	753	山口市滝町1-1	08392-2-3111
徳島	総務部総務課外事係	770	徳島市方町1-1	0886-21-2028
香川	民生部婦人青少年課青少年係	760	高松市番町4-1-10	0878-31-1111内4369
愛媛	農林水産部農林技術センター農村青年係	790	松山市道後一方1-2 農林庁舎4階	0899-41-2111内4317
高知	福祉生活部県民生活課青少年対策班	780	高知市丸の内1-2-20	0888-23-1111内310
福岡	総務部渉外課海外係	810	福岡市中央区天神1-1-1	092-741-0175
佐賀	福祉生活部青少年対策指導係	840	佐賀市城内1-1-59	0952-26-8442内2056
長崎	総務部総務課外事係	850	長崎市江戸町2-13	0958-24-1111内2114
熊本	総務部広域課外事係	862	熊本市水前寺6-18-1	0963-83-1111内2716
大分	福祉生活部消費生活課県民相談係	870	大分市大手町3-1-1	0975-34-9291
宮崎	総務部総務課外事係	880	宮崎市橋通東2-10-1	0985-24-1111内2033
鹿児島	総務部県民局広域課渉外係	892	鹿児島市山下町14-50	0992-26-8111
沖縄	生活福祉部青少年交通安全対策室青少年育成班	900	那覇市泉崎1-2-32	0988-66-2182

### 国際協力事業団の支部

県名	支部	〒	住所	電話
北海道	北海道支部	060	札幌市中央区北1条西5(北一条ビル内)	011-221-6661
宮城	仙台支部	980	仙台市本町3-4-10(県本庁舎内)	0222-63-0795
東京都	東京支部	160	新宿区本塩町8-2(住友生命四ツ谷ビル内)	03-359-8281
愛知	名古屋支部	460	名古屋市中区丸の内2-4-7(県産業貿易西館内)	052-221-7103-6
大阪	大阪支部	530	大阪市北区曽根崎新地1-3-16	06-345-3621
兵庫	神戸支部	651	神戸市真谷区御幸通8-1-6(国際会館内)	078-221-6520
広島	広島支部	730	広島市基町10-3(県自治会館内)	0822-27-1588
香川	高松支部	760	高松市番町5-1-24(観光ビル内)	0878-33-0901
福岡	福岡支部	812	福岡市博多駅前2-9-28(商工会議所ビル内)	092-411-1846
熊本	熊本支部	860	熊本市花畑町1-4(熊本県生命館内)	0963-22-1315
沖縄	沖縄支部	900	那覇市西3-10-102	0988-66-0136

## 協力隊の募集は年2回、春と秋です

協力隊の募集は、毎年、春と秋の2回行なっています。募集期間、選考、訓練、派遣の日程は、つぎのとおりです。

	募集期間	1次試験 (筆記)	2次試験 (面接)	訓練	出発	
春の募集	4月15日～ 5月31日 (締切5月31日)	7月中旬 の日曜日	8月中旬 ～下旬	3次隊	10月1日～1月中旬	2月上旬
				4次隊	12月10日～3月下旬	4月中旬
秋の募集	10月15日～ 11月30日 (締切11月30日)	1月中旬 の日曜日	2月中旬 ～下旬	1次隊	4月1日～7月中旬	8月上旬
				2次隊	6月14日～9月下旬	10月中旬

### 協力隊員の書いた本

- ◎俺たちの異郷 (定価 1200円)
- ◎王都に賭ける青春  
(宮本大進著：定価630円)
- ◎ラダワン—ラオスからきた花嫁—  
(島崎一幸著：定価580円)  
〈発行所〉文遊社  
〒113 文京区本郷1-25-1  
TEL. (03)815-7740
- ◎写真集・わがエチオピア人<sup>び</sup>  
(吉岡逸夫著：定価 3200円)  
〈発行所〉フロンズ社  
〒101 千代田区神田神保町1-46  
TEL. (03)295-5015
- ◎タンザニアのママたち  
(宇野みどり著：定価750円)  
〈発行所〉日本放送出版協会  
〒150 渋谷区宇田川町41-1  
TEL. (03)464-7311
- ◎遙かなるラオス  
(久保田初江著：定価950円)  
〈発行所〉時事通信社  
〒100 千代田区日比谷公園1-3  
TEL. (03)591-1111

### 情熱ある若者へ贈る本

#### 青年海外協力隊シリーズ

講談社発行：価格 各980円

〒112 東京都文京区音羽2-12-21

TEL. 03-945-1111(代)

#### ◎日本人の可能性と限界

中根千枝(東京大学教授)著

#### ◎発展途上国と日本人

鳥羽欽一郎(早稲田大学教授)著

#### ◎ボランティア・スピリット

伴正一(前青年海外協力隊事務局長)著